

ポスト・コロナを考えるー

立地適正化計画の成果と実効性の確保

～「データ・誘導・連携」をキーワードとしたコンパクトシティ実現への展開～

- 立地適正化計画の成果ー体質改善とクロスセクター効果／バイオメティックスとポストコロナ
- コンパクトシティ形成とビッグデーター都市計画シミュレーション、アクティビティとまちづくり
- [館林市] 館林都市圏の機能分担ー基本方針と誘導区域設定、広域連携の強化と実現
- [柏市] 立地適正化計画と空き家・空き地の活用ー居住誘導施策の展開とスポンジ化対策

【講師陣】

谷口 守 氏 / 筑波大学システム情報系社会工学域教授
石神 孝裕 氏 / 一般財団法人計量計画研究所都市地域・環境部門長
井手 竜也 氏 / 館林市都市建設部都市計画課計画指導係長(群馬県)
田口 史 氏 / 柏市都市部住環境再生課長(千葉県)

日時・会場

2020年7月16日(木)
10:00~16:50
 厚生会館・会議室
 (東京都千代田区)

時	講 義 内 容
10:00 } 11:25	<p>1. コンパクトシティ実現に向けた現状と課題 ～立地適正化計画制度導入の成果とコロナ後を考える～</p> <p style="text-align: right;">筑波大学システム情報系社会工学域教授 谷口 守 氏</p> <p>1. 立地適正化計画導入までの復習 2. その成果：体質改善とクロスセクター効果 3. 課題を検証する</p> <p>4. バイオメティックスからのアプローチ 5. コロナ後を考える</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <p>【谷口 守 氏プロフィール】 京都大学大学院工学研究科博士後期課程単位修得退学。カリフォルニア大学バークレイ校客員研究員、ノルウェー王立都市地域研究所文部省在外研究員、岡山大学環境理工学部教授等を経て、現職。工学博士。国土審議会・社会資本整備審議会・交通政策審議会専門委員、日本都市計画学会学術委員長・理事などを歴任。専門は都市地域計画、交通計画、環境計画。「世界のコンパクトシティ、都市を賢く縮退するしくみと効果」(2019、学芸出版社、編著)</p>
11:35 } 13:00	<p>2. データ駆動型都市計画とコンパクトシティ形成</p> <p>1. 都市を取り巻く状況の激変～破壊的イノベーションや不確実性～ 2. 都市の新たな表情を見せるビッグデータの登場 3. ”人”の活動(アクティビティ)への着目 4. 都市計画にシミュレーションは使えるのか 5. データで変えていくまちづくり</p> <p style="text-align: right;">(一財)計量計画研究所 都市地域・環境部門長 石神 孝裕 氏</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <p>【石神 孝裕 氏プロフィール】 平成13年東京工業大学大学院総合理工学研究科修了。博士(工学)。平成13年より一般財団法人計量計画研究所に研究員として勤務。平成29年より現職。専門は交通計画・都市計画。立地適正化計画等の都市計画業務や総合都市交通体系調査に携わるとともに、近年では人流データを用いたまちの評価やスマート・プランニングに取り組む。</p>
<p>3. [自治体報告] コンパクト・プラス・ネットワークに向けた取り組み</p>	
14:00 } 15:20	<p>(1) [群馬・館林市] 広域連携による持続可能なまちづくりの実現 ～館林都市圏(1市4町)による連携強化・機能分担～</p> <p style="text-align: right;">館林市都市建設部都市計画課 計画指導係長 井手 竜也 氏</p> <p>1. 策定の背景・目的 2. 館林都市圏の現状と課題 3. 立地適正化に関する基本方針</p> <p>4. 誘導区域の方針 5. 広域連携の実現に向けて</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <p>【館林市の取り組み】 館林都市圏(館林市・板倉町・明和町・千代田町・邑楽町)では、人口減少や高齢化に対応した集約的なまちづくりを目指し、市町同士の連携強化や機能分担を図るための基本方針を2017年に策定。基本方針に基づき、医療や福祉など日常生活に必要なサービスが身近に存在する拠点の形成と、公共交通網整備との連携に取り組む。</p>
15:30 } 16:50	<p>(2) [千葉・柏市] コンパクトシティに向けた都市のスポンジ化対策</p> <p style="text-align: right;">柏市都市部住環境再生課長 田口 史 氏</p> <p>1. 柏市の立地適正化計画 2. 空き家・空き地の活用</p> <p>3. 居住誘導にかかる施策展開 4. 今後のまちづくり</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <p>【柏市の取り組み】 平成30年4月に立地適正化計画を策定。将来の人口減少に備え、今後の人口趨勢により課題の発生が想定される地区を中心に、空き家・空き地の活用や居住誘導の施策を展開するなど、コンパクトシティに向けた準備を進める。</p>



(空き家・巻2) 空き家起点のまちづくり方策一

空き家(マンション)対策の自治体政策体系化

空き家問題のフロントランナー

□ [執筆] 米山 秀隆 / (株)富士通総研経済研究所 上席主任研究員 (住宅・土地アナリスト)
(現・国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 技術戦略研究センター)

■ 体裁: A4判 / 178頁
■ 発行: 2015年2月20日
■ 定価: 5,115円 (税・送料込)
(本体4,650円)
■ 研修会参加者特価: 4,600円

[本書を推薦します] 辻山 幸宣 / (財)地方自治総合研究所 所長
出石 稔 / 関東学院大学 副学長
田口 一博 / 新潟県立大学 国際地域学部 国際地域学科学科准教授

第3章 空き家対策②—利活用促進策と老朽マンション対策

空き家バンク/空き家の流動化のネックとその解消法/空き家利活用のインセンティブ/空き家を活用した定住支援への取り組み/空き家の公的活用/空き家関連ビジネス/空き家の多様な活用法と住宅弱者対策/老朽化マンション対策

第4章 「空き家」問題から今後の住宅・都市政策を展望する

これからの住宅・都市政策/コンパクトシティ政策の事例/公共施設集約の進め方/所有者不明の空き家の処分

第5章 [資料] 空き家対策の自治体政策構築に向けて

老朽空き家の撤去促進ツール/空き家利活用まちづくりと老朽化マンション対策/コンパクトシティ政策と公益施設の集約化

第1章 空き家(マンション)の現状と課題

～「2013年住宅・土地統計調査」をどう読むか～

はじめに/空き家の現状と将来展望/空き家の実態/マンションの空き家の現状/空き家もたらず問題

第2章 空き家対策①—撤去促進策と空家等対策特措法

空き家対策の類型と取り組み状況/空き家の撤去促進策/空家等対策特別措置法/固定資産税に関するもう一つの視点

(空き家・巻4) 「街」の価値劣化を防ぐ空き家施策—空家法活用の処方箋



空家法施行と自治体空き家対策

[編集(執筆)] 北村 喜宣 / 上智大学法科大学院教授

[執筆] 町田 陵 / 東京・青梅市生活安全部住宅課
西尾 浩 / 兵庫・明石市職員 (元・都市整備部建築室建築安全課監察係主任)
須藤 純 / 群馬・前橋市総務部秘書課 (元・建設部建築住宅課)

■ 体裁: A4判 / 192頁
■ 発行: 2017年9月4日
■ 定価: 5,445円 (税・送料込)
(本体4,950円)
■ 研修会参加者特価: 4,900円

[本書を推薦します] 出石 稔 / 関東学院大学 副学長・法学部教授

[第1章] 空家法の法的論点と法施行上の課題・対応

第1節 空家法施行における法的論点

押し寄せる苦情と自治体現場/使えない法律、使わない担当課/条例による制度化といくつかの論点/空家法(空家等対策推進特別措置法)の概要と特徴/空家法の制度設計の発想と問題点/始まった自治体の空家法への対応/空家法実施にあたっての論点/空家法実施上の法的な論点

第2節 空家法実施の現状といくつかの法的論点・対応

自治体が先導した空き家施策/空家等対策推進特別措置法の概要と特徴/始まった自治体の対応/空家法を条例に取り込む方法/実施における法的論点/<Q&A> 相続財産管理制度、特定空家等の認定等について

第3節 [資料] 空家特措法及び法制定後の自治体空き家条例集 (15例)

上智大学 北村 喜宣

[第2章] 実践報告—空家法施行と自治体の空き家対策

第1節 [東京・青梅市] 青梅市の空き家実態調査

青梅市の現状/空き家実態調査の目的と手法/二次調査/実態調査から見てきた課題/青梅市の空き家対策とその推進/<Q&A> 空き家実態調査の方法

第2節 [群馬・前橋市] 前橋市の空き家対策

前橋市の現状と空き家の実態/前橋市の空き家対策/特定空家等対策の推進の実際/前橋市空家等対策計画/空家等対策の基本的施策/空き家実態調査の実施

第3節 [兵庫・明石市] 空家特措法に基づく行政代執行(略式代執行)による空き家の除却

明石市の現状と空き家条例の制定/明石市の行政代執行(略式代執行)の実施/今後の課題/<Q&A> 略式代執行の実施実務とその後

青梅市 町田 陵

前橋市 須藤 純

明石市 西尾 浩

[研修会の参加要領]

「新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催への対応について」
予防対策として、座席の間隔を空け、定期的な換気・アルコール消毒の実施等を行います。手洗いやマスク着用等にご協力下さい。

■ 日時: 2020年7月16日(木) 10:00~16:50

■ 会場: 厚生会館会議室 (案内図は申込後送付)
東京都千代田区平河町1-5-9

■ 申込方法: 下部の申込書に所要事項を記入の上送付下さい
(FAX・郵送・メール等)。

■参加費(1名分)

	1名参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	28,000円
一般	35,000円	38,000円

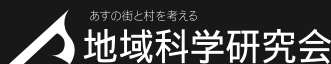
※参加費の払い戻しは致しませんので、申込みの方のご都合が
悪い場合は代理の方の出席またはメディア参加とさせていただきます。
※メディア参加申込の方は、研修会開催後に音声CD(講演収録)
及び資料と請求書をお送りします。

■支払方法

請求後の振込(銀行振込・郵便振替・当日払い)

みずほ銀行麹町支店 普通1159880
三井住友銀行麹町支店 普通7411658
三菱UFJ銀行神田支店 普通5829767
郵便振替:00110-8-81660
口座名: ㈱地域科学研究会

お問い合わせ: 03-3234-1231



東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993
URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

[申込書 2020年 月 日] 希望欄に印を入れて下さい FAX: 03(3234)4993 MAIL: machi@chiikikagaku-k.co.jp

■ 研修会の参加 『立地適正化計画の成果と実効性の確保』 : 当日参加 メディア参加

■ 出版物の購入 空き家・巻2 『空き家対策の自治体政策体系化』 _____ 冊 空き家・巻4 『空家法施行と自治体空き家対策』 _____ 冊

勤務先 _____ 所在地 〒 _____ 連絡担当者 _____

TEL _____ FAX _____ E-mail _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____

(通信欄) ○をつけてください

・支払方法 (銀行振込・郵便振替・当日払い)
・必要書類 (納品書・請求書・見積書・領収書)
請求書宛名: _____

※ご記入いただいた個人情報は当会の活動(セミナー・出版物等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。